

data 1 世界市況データ(ポリシリコン、ウエハ、セル、モジュールスポット価格)

(単位:米ドル)

種別	平均価格	下限	上限	トレンド	
ポリシリコン(kg当たり)	14.91	10.00	20.00	↗ 1.3%	
ウエハ	多結晶シリコンウエハ(156mm角)(枚)	0.83	0.78	0.90	↗ 0.6%
	W当たり	0.20	0.19	0.22	
	単結晶シリコンウエハ(156mm角)(枚)	0.96	0.94	1.14	↘ 3.4%
	W当たり	0.24	0.23	0.28	
セル	W当たり	0.30	0.28	0.39	↗ 1.1%
	多結晶型(156mm角)(枚)	1.33	1.16	1.75	↗ 1.6%
	単結晶型(156mm角)(枚)	1.65	1.52	2.30	↘ 0.2%
モジュール(W当たり)	結晶型	0.57	0.48	0.78	↗ 0.0%
	薄膜型	0.59	0.47	0.80	↘ 0.5%

(7月現在)

※PVinsight、EnergyTrend及びPVeve独自取材によって算出

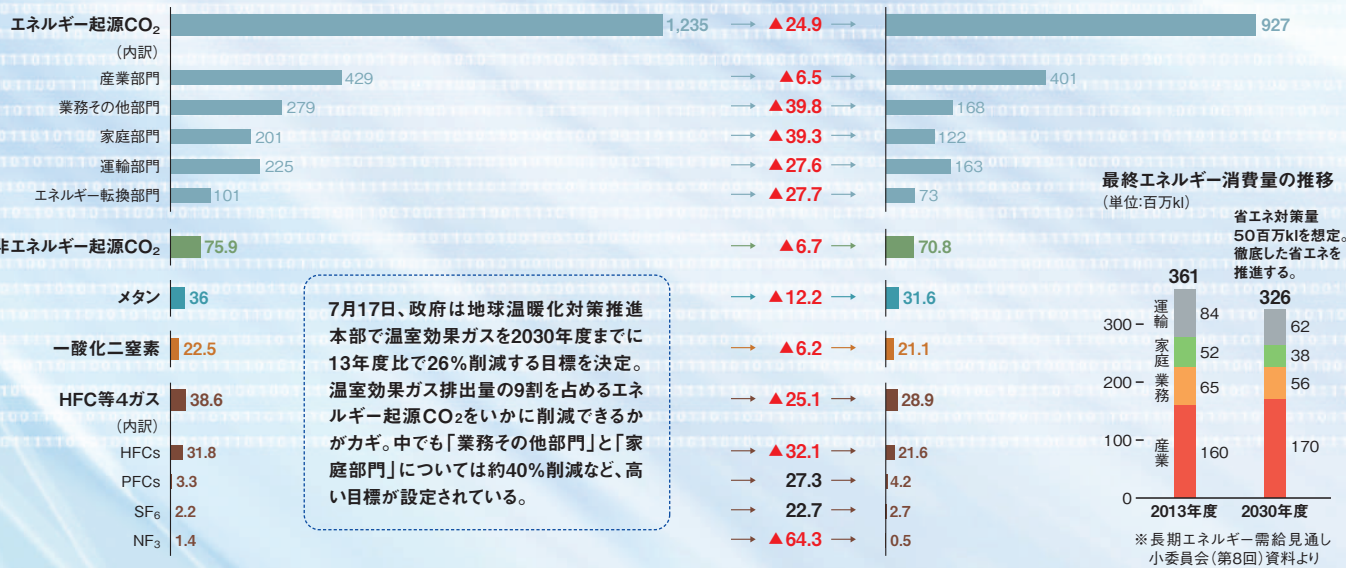
data 2 温室効果ガスの削減目標

基準年 ▶ 2013年度(2005年度も登録) 実施期間 ▶ 2021年4月1日~2031年3月31日
 目標年度 ▶ 2030年度 対象ガス ▶ CO₂、CH₄、N₂O、HFCs、PFCs、SF₆及びNF₃

[対象ガスの排出量と13年度比]



米国は2005年比、EUは1990年比の数字を削減目標として提出。日本が2013年度比としたことについて、否定的意見もある。

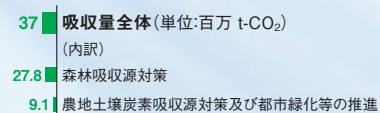


7月17日、政府は地球温暖化対策推進本部で温室効果ガスを2030年度までに13年度比で26%削減する目標を決定。温室効果ガス排出量の9割を占めるエネルギー起源CO₂をいかに削減できるかがカギ。中でも「業務その他部門」と「家庭部門」については約40%削減など、高い目標が設定されている。

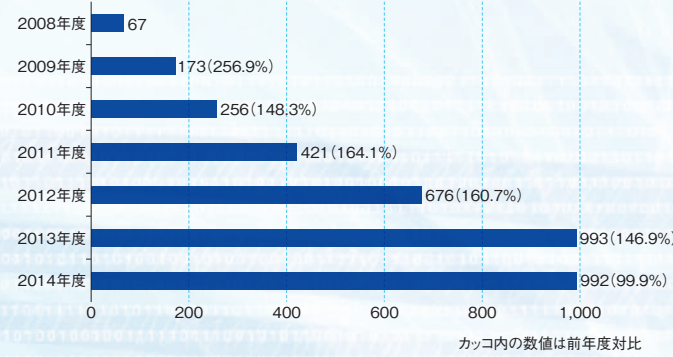
※地球温暖化対策推進本部「日本の約束草案」参照
 ※端数四捨五入により、合計数字が合わない場合もある

森林・林業対策、都市緑化の推進などにより温室効果ガスの吸収源を増やす

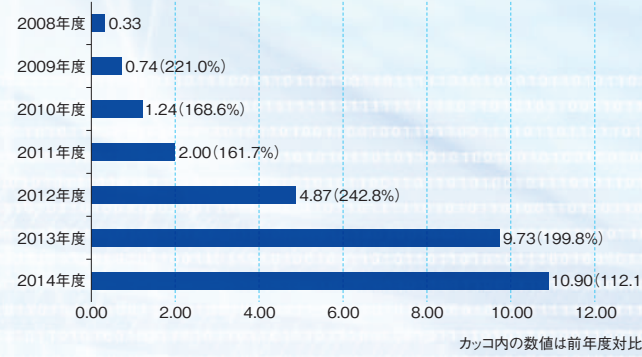
温室効果ガス吸収源



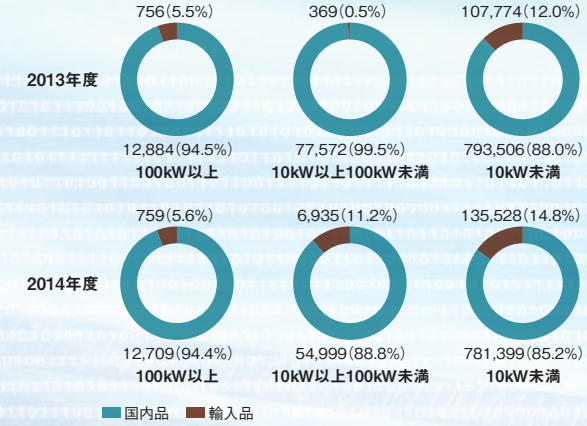
3-1/太陽光用PCS総出荷台数(単位:千台)



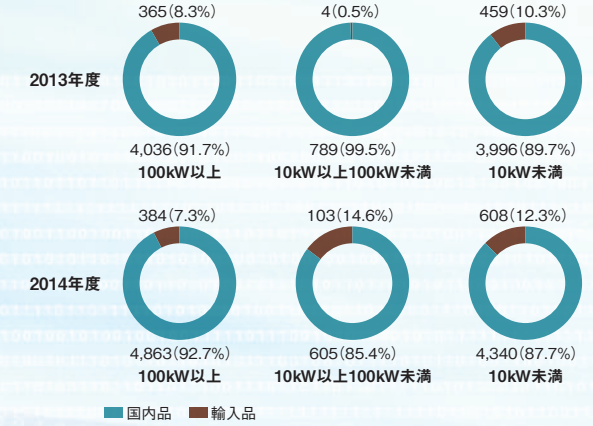
3-2/太陽光用PCS総出荷容量(単位:GW)



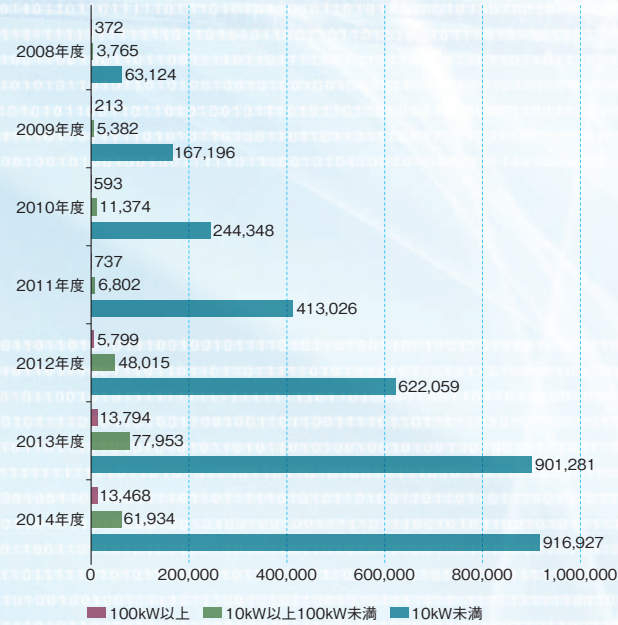
3-7/容量帯別国内品・輸入品台数(単位:台)



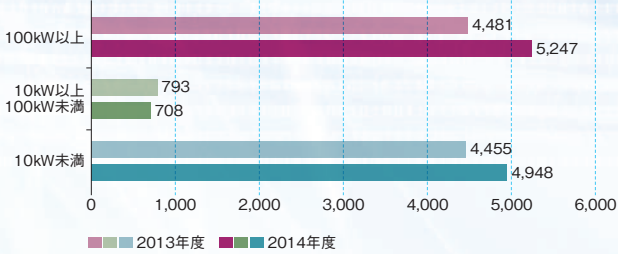
3-8/容量帯別国内品・輸入品容量(単位:MW)



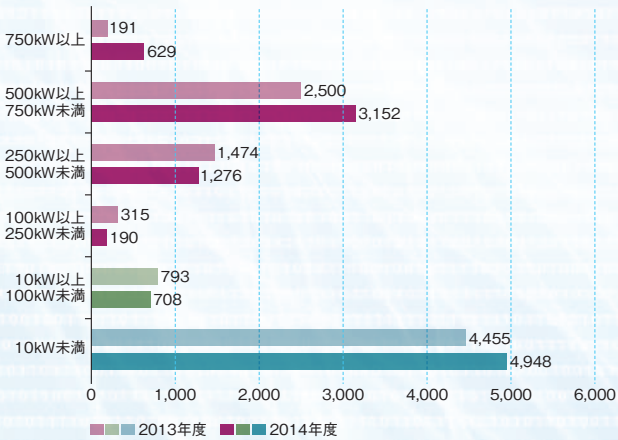
3-3/容量帯別出荷台数(単位:台)



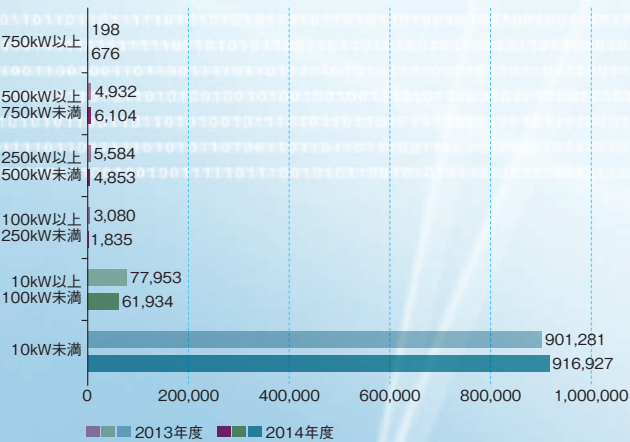
3-5/容量帯別出荷容量(単位:MW)



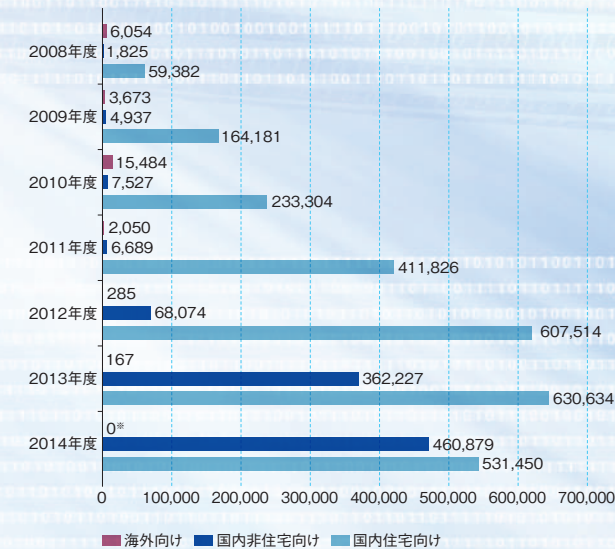
3-6/容量帯別出荷容量【詳細】(単位:MW)



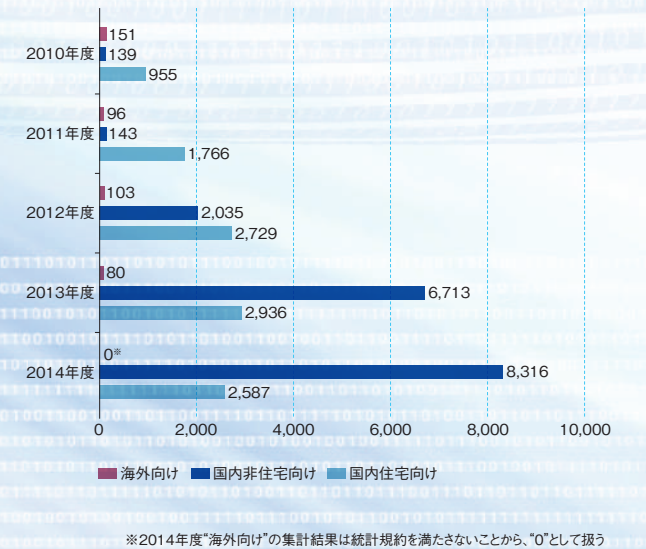
3-4/容量帯別出荷台数【詳細】(単位:台)



3-9/用途別出荷台数(単位:台)

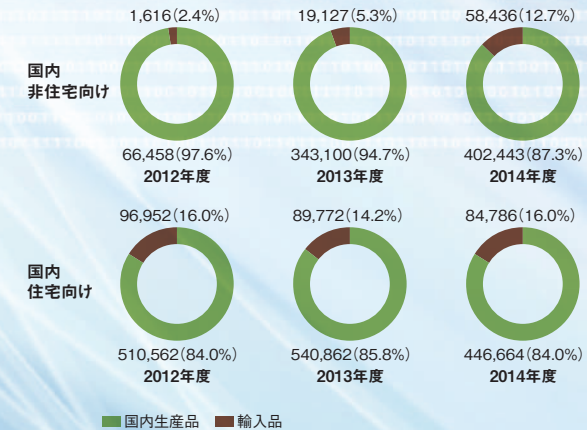


3-10/用途別出荷容量(単位:MW)

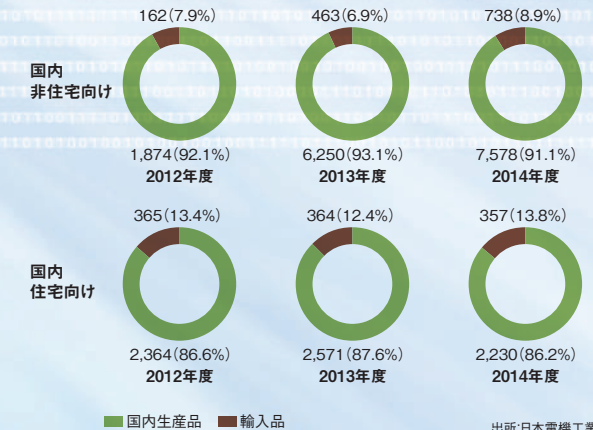


*2014年度“海外向け”の集計結果は統計規約を満たさないことから、“0”として扱う

3-11/用途別国内・輸入品の台数割合(単位:台)



3-12/用途別国内・輸入品の容量割合(単位:MW)



出所:日本電機工業会(JEMA)